

2014年度 NPO法人アクションおっぱまの事業
2014年度の活動をミニアルバムにしました

(1) 誰でもが地域に住み続けられるための条件整備に関する事業

1) マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援

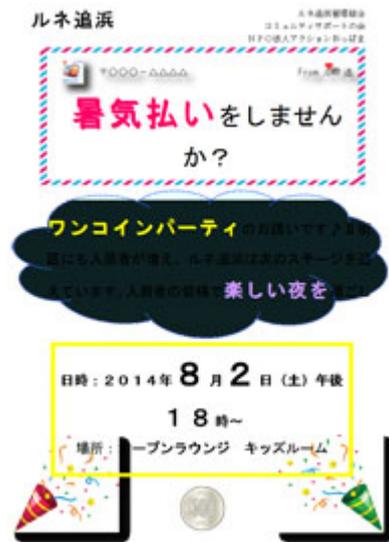
ルネ追浜で下記の活動の他、ルネ追浜親子サロンや、自治会結成に向けての活動等を支援しました。



連続コミュニティ講座の案内チラシ



第三回 防災ワークショップの様様



ワンコインパーティの案内

2) 空き家プロジェクト

関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科の水沼淑子先生と学生たちが、追浜2丁目で空き家を改修し学生のシェアハウスとして活用するとともに、地域での活動をはじめました。



関東学院大学の広報資料より



(上) 対象空き家周辺 (下) 改修の様様

(2) こみゆに亭カフェでのイベント

1) ミニコンサート



12月2日 アルパ (南米のハープ) コンサートの様様

2) 手づくり講座

2014年度の手づくり講座は、下記のとおりです。

第31回 11月 5日 (水) 暮らしにいかす折り紙のいろいろ

廣島壽子

第32回 2月 6日 (金) 暮らしにいかす小さな籠づくり

根岸美枝



暮らしに活かす折り紙のいろいろ



折り紙講座の様様



小さな籠づくりの模様（1）



小さな籠づくりの模様（2）

（3） 地域の歴史遺産をいかしたまちづくり

1） 第三海堡遺構の保存と活用

今年は、毎月第一日曜日の一般公開日や団体見学、アイクルフェア、Y・フェスタ追浜等のイベント公開を合わせ1600人が見学しました。見学者は年々増えています。



2014年度は、横須賀市のNPO法人活動補助金で、金属製の大型案内看板（架設を設置しました。

2) 追浜の自然や歴史遺産等を活かすフィールドミュージアム構想

随時検討を進めています。この資料は、11月18日の「貝山緑地見学会」（主催・おっぱまはっけん倶楽部）に際し、青木副理事長が作成した資料の一部です。

追浜・貝山周辺の現在の状況や過去は

- 現在の貝山周辺の特性や状況の確認
- ① 施設
 - ・ トレが汚く、山の中間にはない源電が公園内になく、お花見等夜間等のイベントは出来ない
 - ・ 近くに第三海堡遺構が存在する
 - ・ 近くに動物管理センター、リサイクル・アィクル等公共的施設や共 空 公
 - ・ 駐場がある
 - ・ 続々術廠の本庁舎の旗竿さし保管している（傷跡）
 - ・ 災 浦瀬当時の遺物が存在する（現 見）
 - ・ 震災に危険を理由に貝山地下壕は入れない
- ② 景観・自然
 - ・ 樹木の定庫・杏の生育で案がなる
 - ・ 杏の親音は、行政の一方的な考えになっている
 - ・ 杏の種粒提供者のいきさつや経過は反映されていない
 - ・ 公園は散策、ウォーキングが可能（抜か道がないため利便でない）
 - ・ 海が木や竹で景観が悪い
 - ・ 海が近いのに、潮の音や海を感じさせないエリアである
- ③ その他・感想
 - ・ 忘れられて人が行かない公園（工場街に埋もれている）
 - ・ 地域住民に公園としての認識がされず、活用されていない
 - ・ 公園管理として、年間の自然や風景の変化はわからない（行政側）
- 遺跡等の遺構跡の存在
 - ・ 予科隊発祥の跡地
 - ・ 予科隊の航空神社跡
 - ・ 昭和以前の砲台跡
 - ・ 巨大巡洋艦シーゼルタンク群
 - ・ 横須賀海軍航空隊発祥の碑
 - ・ 横須賀海軍航空隊第二士官舎跡
 - ・ 横空神社と下川万兵衛の銅像（現存無）
 - ・ 航空隊の気象観測所、探照灯（現存無）
 - ・ A・B・Cの地下壕や中段2つのX壕
 - ・ 旧発祥の碑から観測所による古びた階段
 - ・ 山の四方八方に残る地下倉庫群
 - ・ 計画的に掘りめぐった地下壕が貝山全体
 - ・ 陸軍時代の砲台跡レンガ

～「どうする貝山」～
フィールドミュージアムとして資源活用

(コンセプト)・・・ 貝山の現状を踏まえ自然や歴史等の地域特性を「お宝を活用」します。未来へ継承し市民の誇りを再構築する。
平成14年開催の追浜地域活性化検討委員会の子供ワークショップの掲載し！

- (地域の人が足を運ばない理由)・・・誰もいかない貝山をどうするのか！
 - ・ 工場地帯の奥にあり、このままでは工場地帯が魅力もなく、公園緑地として知られない
 - ・ 散策コースとしては良いが、途中カフェ等何も一息つく場所がない、また説明版もない
 - ・ 小さい頃から寂しそうに馴染みのない場所
 - ・ コンビニ、ファミレス等店も何もなく不便、海の景観は良いが歩けずおたけで工夫されてほしい
 - ・ 貝山周辺の歴史的事実を知らない、知らせない
 - ◎ 貝山を登ると反対側の浄化センターに降りられなく散策に不便で通さない
 - ・ 社会見学の間になってほしい、自然や歴史教育に活用してほしい
 - ◎ ただの人の行きがたい山しか見えぬ、人が行きがたい場所は危険の代名詞？
- 人が訪れる場所にする、妙案はあるか誰が行うのか
 - 1 (ソフト面の例)
 - ・ 街づくりとして、市民(ちびっこ達も)・行政・企業・NPO等団体が連携し公開討論会を開催する
 - ・ 終戦記念日に戦跡があるので追浜の平和を考える場とし、定期的にシンポジウム開催する
 - ・ 活用のための地域住民アンケートを実施する
 - 2 (ハード面の例)
 - ・ 自然や歴史の説明版を企業宣伝で歩道や山に設置する *地下階段・地上まで50段
 - ・ 地下壕の一部保存で、資料館や教育の場にする
 - ・ 道端がないファミレスを誘致、合わせてコンビニも
 - ・ 海浜にボードウォークを作り貝山から深溝を回避
 - ・ 貝山の樹木に札をつけ樹木の個別カードを構築する
 - ◎ 貝山から浄化センター側へ降りられる「梯子階段」を作る
 - ・ 工場施設や地下壕倉庫の解放でライブ、映画等イベントを行う
 - ・ 高齢者のシルバー散策公園・子づれのバギー公園とする
 - ・ 追浜ワインの酒蔵としてワイン工房を地下壕に
 - ・ 映画のロケ、テレビ撮影のロケのフィルムコミュニケーションパーク追浜を構築する
 - ・ 地図やパンフを作成し、貝山冒険ランドの構築していく
 - ◎ 杏の里としての定容を整えた場所とする、第2段の果樹栽培を基金を始める
 - ・ 貝山歴史ミュージアムを建設・戦場跡のレプリカ設置(1/10程度のもの)
 - ・ 追浜航路貝山周辺フィールドミュージアム・ランド設置をした上で重畳する
- 実際に貝山の活性の手段は、調査をへた実施企画を立てる
 - ・ 市民委員会が秋口から春に2回程度の調査を開始する。時期別には草壁がむけた場所が良い
 - ・ 地図上に色々の情報や課題を記入していく
 - ・ 調査した後、構想づくりを行い、実際に関係機関と調査や巻きこみ団体の支援、連携を促進
 - ・ 資金調達の方法、人的作業の試案を作成
 - ・ 公募等により、構想の実現のため人材やアイデアを収集していく
 - ・ 追浜の人達に貝山冒険ランドとして「貝山の目を制定」のイベントを打ち、山を知ってもらう
 - ・ 山の案内人として、貝山ガイドのボランティア育成する、各種アンケートも行う
 - ◎ 平成15年に完成した「貝山緑地未来プロジェクト」の報告書の活用を再度考える

(資料：「貝山緑地見学会資料」青木猛副理事長作成)

◎ 事務局移転のお知らせ

これまでこみゆに亭カフェ内にあった事務局は、改修時の「平成21年度地域商店街活性化事業」の期間終了にあたり、下記住所に移転しました。
 なお、NPO法人の登記簿上の住所はこれまで通り、横須賀市追浜町2-13で変わりません。電話番号、FAX番号も変わりません (046-866-2790)。

事務局住所 横須賀市追浜町2-39 創楽舎内

「つむぎ」という居酒屋の2階、うれしたのし屋の並びです。

なお、毎日常駐という訳ではありませんので、事務局にお越しの際はぜひご連絡下さいますようお願い致します。